

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
経済学Ⅱ	共通	1年生・後期	2単位	選択	坂本 徹
履修の前提条件	一国の経済活動を示すGDPの対前年伸び率が何故変動を繰り返すのか、その制御方法と目的について考えつつ、テキストの4・5・6・8・9・11の各章を読んで欲しい。				
授業概要 (Course Outline)					
<p>国民所得の対前年伸び率が年々変化の様子を見ると、好景気・不景気がある周期で繰り返されていることが分かる。その原因については諸説あるものの、ある範囲内の上下動は通常の経済活動の結果であって、経営手腕のみせどころでさえある。ただ過度の変動はインフレーションや失業を引き起こし、経済問題を越えた社会不安の震源となることから、安定成長を図って種々の対策が採られる。本講義ではそれ等(例えば増減税、公共支出の増加と抑制、利子率の上げ下げ)がどのような考え方に基づいて決定され、どのような結果をもたらすかを説明する。</p>					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				○
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				○
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
日頃見聞する経済ニュースを手がかりにして将来を見通し、現況を判断する力を養う。					
事前学習の内容	授業の最後に、次回の予告をします。授業の中心となるポイントを2~3つのキーワードで提示しますから、これについて調べてください。				
事後学習の内容	授業の最初にその授業の中心となるポイントを2~3つのキーワードで提示しますから、そのキーワードを使って、まとめの短文を書くことを勧めます。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
テキストの通読、事前学習を通して自身の考えをまとめておいて下さい。それから生じる疑問点・意見は、できるだけその場で聞いて、理解を深める訓練を習慣付けて行きたい。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
授業中に生じた疑問点・意見は、できるだけその場で採り上げて行きます。その他については月曜の3・4時間目(12:50~16:00)をオフィスアワーとしていますので、この時間帯は事前連絡無しでお待ちしています。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
<p>経済学検定、ファイナンシャルプランナー、日商簿記検定などの外部試験を受験した者は成績評価の対象とします。</p> <p>ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。</p>					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	経済学の成り立ち		
第2回	国民所得		
第3回	在庫変動		
第4回	景気循環		
第5回	マクロモデル		
第6回	消費 - 可処分所得と消費の関係 -		
第7回	消費 - 消費と貯蓄、乗数効果 -		
第8回	投資 - 利子率と投資 -		
第9回	投資 - 加速度原理 -		
第10回	政府の役割 - 歳入と歳出 -		
第11回	有効需要管理政策		
第12回	財政政策		
第13回	金融政策		
第14回	日本銀行の役割		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
明快マクロ経済学	荏開津 典生	日本評論社	ISBN4-535-55310-6
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
経済学入門	荒 憲治郎 その他著	有斐閣新書	ISBN4-641-09110-2
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
評価 = 受講姿勢 + 定期試験評価 3 : 7			